

日本臨床検査医学会 2015 年度 第 2 回 臨床検査専門医・管理医審議会 議事録

日 時：2015 年 8 月 29 日（土）15：00～17：00

場 所：日本臨床検査医学会 事務所

出席者（9 名）

村田 満（委員長）

前川真人（副委員長）

村上正巳（研修施設・指導者認定委員長）

菊池春人（受験・更新資格審査委員長）

宮地 勇人（試験委員会委員長）

矢富 裕（H26-27 臨床検査専門医試験実行委員長）

東條尚子（H26-27 臨床検査管理医試験実行委員長）

山田俊幸（教育委員長）

三宅一徳（日本臨床検査専門医会代表）

欠席者（1 名）木村 聡（臨床検査専門医制度検討委員長）

村田満委員長より開会宣言の後、議事を進行した。

1. 2015 年 7 月 1 日付研修施設再認定申請について（追加）（村上正巳 研修施設・指導者認定委員長）

福島県立医科大学附属病院は、認定病院・認定期間 5 年で（2010 年 1 月 1 日～2014 年 12 月 31 日）で再認定されていたが、2013 年 2 月に、前指導責任医から担当が替わるため認定取り消しの希望があり、その旨承認していた。今回、後任の検査部長より、昨年、臨床検査専門医を取得したため研修施設再認定申請希望の連絡があり申請された。7 月 23 日に申請書の提出があったが、本年 3 月下旬に連絡があった経緯もあり、7 月 1 日に遡り、認定病院・認定期間 2 年で認定したいと提案があり、承認された。

2. 2015 年 1 月 1 日臨床検査専門医更新申請について（追加）（菊池春人 受験・更新資格審査委員長）

2015 年 1 月 1 日付の専門医更新者で、2014 年度までに必要単位を満たしていたが申請されていなかった専門医 2 名より更新申請があったため、1 月 1 日に遡り更新資格を承認した。

3. 臨床検査管理医認定試験受験資格審査について（菊池春人 受験・更新資格審査委員長）

2015 年度第 7 回臨床検査管理医認定試験の受験希望者 34 名について受験資格審査を行い、問題のあった 1 名については 2 年間の会費未納であったが納入され、1 名については産業医資格を 7 月 28 日に認定され認定証を確認できたことにより、全員有資格と判定したことが報告され、承認された。

4. 管理医の受験資格審査の内規等について（菊池春人 受験・更新資格審査委員長）

受験・更新資格審査委員会内規には、臨床検査専門医についてしか審査することになっておらず、臨床検査管理医制度規定には、「受験資格審査、認定作業および認定証交付は、日本臨床検査医学会の責任と基準において実施する。」規定されている。臨床検査管理医の受験資格審査する委員会が明確ではないため、検討すべきとの意見があったため検討し、内規については、受験・更新資格審査委員長に検討を依頼し、管理医制度の今後のあり方について臨床検査専門医制度検討委員会に委員（またはアドバイザー）を増員したうえで検討依頼することとなった。

5. 第 7 回臨床検査管理医講習・認定試験開催について（東條尚子 試験実行委員長）

第 7 回臨床検査管理医講習・認定試験は、2015 年 10 月 11 日（日）10：55～16：30、東京（東京医科歯科大学）において実施されが、そのプログラム、講師、試験問題が決定したこと、今後、2015 年度版テキストの完成を待ち、管理医受験者に受験資格審査結果と一緒に送付予定であることが報告された。

6. 第 32 回臨床検査専門医認定試験実行委員会報告（2015/8/1-2, 東京大）

2015 年度（32 回）臨床検査専門医実行委員会は、試験当日を含め 5 回開催した。

1) 第 32 回臨床検査専門医認定試験実行委員会メンバー

実行委員メンバーは6領域で臨床検査専門医資格を有する24名で構成した。

2) 第32回臨床検査専門医認定試験結果について

受験者21名(新規:15名、再受験:6名)で、合格者16名(新規:12名、再受験:4名)、不合格者5名のうち科目限定再受験予定者は4名、全科目受験予定は1名であった。それぞれの講評を作成したことが報告された。

3) 第32回臨床検査専門医認定試験 会計報告

今回、試験関連の書類を保管管理するため、専用のPCを購入して引き継ぐこととした。専門医認定費用200万円で、そのうち48,670円の残金であった。

7. 試験委員会報告(宮地勇人 試験委員長)

8月2日、第32回臨床検査専門医認定試験実行委員会と試験委員会の合同判定会議で合否判定を行い合否案の作成をしたこと、試験問題の内容確認をしたこと、合否判定での申し合わせについて検討したこと、合同判定会議での合否案を承認したことが報告された。

2015年度試験の準備と実施、筆記試験出題、実技試験、2016年度筆記試験の出題方針、実技試験のあり方と出題方針、手技実技試験の課題と対応等について報告された。

専門医試験の2014年度～2017年度以降の変更スケジュールが示された。

2016年度試験合否判定会議規則の骨子(案)が出され、その方針で開催することとなり、試験(筆記)問題について、正答率と識別指数を確認するためマークシートによる採点システムを取り入れる提案があり次年度試験的に行うこととなった。導入に必要な経費は実行委員会の予算を利用することとなった。

8. 臨床検査専門医受験資格に必要な報告書の分野数について(菊池春人 受験・更新資格審査委員長)

現在、臨床検査専門医制度規定、専門医認定試験実施要領、資料2:検査医の報告書等(業務記録)についてのご注意(受験希望者に配布しているもの)の3つの間で、専門医受験に必要な報告書の分野数についての記載が不一致となっているため整合性を取る必要があると比較表が提示のうえ報告があり、新カリキュラムに基づいた9教科で統一することとなった。

9. 報告書提出に関わる過渡的措置の単位表について(菊池春人 受験・更新資格審査委員長)

報告書提出の措置、20単位取得により報告書1～2科目を免除するが、その単位の中の日本臨床検査専門医会教育セミナーは、数年前より講義を主とするものだけになったため、その内容を追加記載する提案があり承認された。

10. 新専門医制度関連事項(山田俊幸 臨床検査領域代表)

1) モデル研修プログラムについて

日本専門医機構に提出し承認予定の研修プログラムが資料として提示された。8月27日に承認予定であったが機構の都合により9月初旬承認の予定となったことが報告された。

2) 研修プログラム認定作業、旧制度への対応について

(1) 新専門医制度における研修プログラム認定作業について

審査の流れ、審査する資料について説明があった。臨床検査領域の研修プログラムの申請受付は、10月1日から開始することが提案され、10月1日～2016年1月31日までの申請期間とすることとなった。

11. その他

臨床検査専門医・管理医審議会 開催日程

第3回:2015年12月26日(土)10:30～11:30